

第41回全国消防救助技術大会



8月7日(火)「第41回全国消防救助技術大会」が東京都において開催され、雲南消防本部から「はしご登はん」の部に景山隆介消防士長(飯南消防署)が出場し、日頃の訓練の成果を発揮し堂々と競技して入賞を果たしました。

景山隆介消防士長のコメント

全国大会という舞台で競技できたことは、自分にとって大変貴重な経験となりました。今後はさらなる技術の向上を目指し、この経験を消防業務に活かしていきたいと思っております。

中・高校生職場体験

8月 8日～10日	宍道高等学校
8月 21日～23日	赤来中学校
9月 25日・26日	頓原中学校
9月 25日～27日	大東中学校・加茂中学校・木次中学校 三刀屋中学校・掛合中学校 (雲南市「夢」発見ウィーク)
10月 10日～12日	三刀屋高等学校



上記各校から10名の生徒が来署し、職場体験を実施しました。

この職場体験では、消防の組織・業務の説明を受けた後、放水訓練、救助訓練、普通救命講習といった実技訓練を行いました。未来の消防士、地域防災の担い手になることを期待して、職員と生徒と一緒に訓練を行いました。

赤来中学校 2年生 平野正文君のコメント
3日間、本当に楽しかったです。放水訓練では水圧が強く持ちこたえるのが一苦労でした。救助訓練ではロープを渡りましたが、渡った後、手が震え翌日は腕と腹筋が痛かったです。救急訓練では、人を助けることは難しいと思いました。いつかまた消防署に来るのでよろしくお願いします。



救急車の適正利用にご協力を

救急車の出動件数が年々増加!

近年、救急出動件数が増加傾向にあります。これは雲南消防管内に限らず全国的な傾向です。

当消防本部では、現在7台の救急車が24時間態勢で住民の安心と安全を守るため昼夜を問わず活動しています。

しかし、最近の救急出動では、軽いけが等による出動が約25%を占め年々増加しています。

雲南消防管内の平成23年中の救急出動件数は2252件で1日約6件の出動となり、管内住民の約29人に1人が救急車を利用したことになります。



◎緊急を要する病気やけがでないけど… 便利なので救急車を利用する

これは、事故による大けがの人や、心筋梗塞などで緊急に病院などへ搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせることとなります。

◎救急車や救急医療は限りある資源です

いざというときの住民の安心のために、救急車の利用について今一度考えてみてください。

救急車が必要なときは、ためらわずに救急車を呼んでください。

第64回島根県消防大会

8月4日(土)「第64回島根県消防大会」がカルチャープラザ仁多において開催され、当管内からは下記の3団体が避難訓練や防火・救急法講習会など日頃の積極的な活動を認められ、島根県知事表彰を受賞されました。

島根県知事表彰受賞クラブ

【幼年消防クラブ】

布勢幼稚園幼年消防クラブ(奥出雲町)

【少年消防クラブ】

三成小学校子ども消防クラブ(奥出雲町)

【女性防火クラブ】

本谷婦人防火クラブ(奥出雲町)



県知事から表彰を受ける
三成小学校子ども消防クラブ



受賞されたみなさん

第56回島根県消防操法大会

ポンプ車の部 **優勝** 奥出雲町消防団八川分団 小型ポンプの部 **優勝** 奥出雲町消防団横田分団



第4位 奥出雲町消防団三沢分団



第2位 奥出雲町消防団布勢分団
第3位 雲南市消防団木次方面隊
第4位 飯南町消防団第6分団

8月5日(日)「第56回島根県消防操法大会」が奥出雲町「横田公園陸上競技場」において、ポンプ車の部11チーム、小型ポンプの部26チームが出場し開催されました。

管内からはポンプ車の部に3チーム、小型ポンプの部に6チームが出場され、ポンプ車の部では奥出雲町消防団八川分団、小型ポンプの部では奥出雲町消防団横田分団が見事優勝、管内消防団9チーム中6チームが上位入賞という輝かしい成績を収めました。

この大会をとおして、消防団員の士気高揚と消防技術の向上が図られ、消防活動の進捗・充実に寄与されました。